

湯田ダムだより

平成26年1月

北上川ダム統合管理事務所
湯田ダム管理支所



湯田ダムは今年、 50周年を迎えます！！



《ダムが無かった時(ダム地点) 昭和30年10月撮影》



《現在の湯田ダム(上空より)》

↓赤線は、ダムの湛水ライン



《水没前の大荒沢・杉名畑地区》



新年を迎えて(湯田ダム支所長あいさつ)



新年明けましておめでとうございます。

湯田ダムは、昭和39年(1964年)11月に完成し今年で50周年を迎えます。この50年の間、湯田ダム下流域の洪水低減、発電及び農業用水の確保と地域の皆さまの安全と生活の一部を担ってきました。

特に洪水では完成直後の昭和40年7月と平成23年6月には、ほぼ計画規模の1秒間に約2000立法メートルの洪水が湯田ダムに流入しましたが、その殆どをダムに貯め込み、流入量の約5分の1にあたる最大1秒間に400立法メートルの放流操作で洪水を終えることが出来ました。

このように、湯田ダムの完成により洪水時における下流域の安全度は増すと共に、発電及び農業用水においても、殆ど取水制限することなく発電や下流域の田を潤すことが出来ました。

しかし、このダムを造るにあたり湯田村(現西和賀町)ではダム建設史上最大規模と言われる水没移転がありました。湯田村中心地区の役場や駅、小中学校などの多くの公共施設、村民の約25%(約600世帯3000人)という大規模な移転でした。

このことを考えると、湯田ダムは湯田村民の理解と協力のもとに造ることが出来たと言えます。

ダム完成から50周年という節目ではありますが、地域の皆さまに安全安心を届けるという基本的な思いは変わることなく、わたしたち湯田ダム職員一同は、今後も地域の皆さまの協力のもと適正なダム管理を常に心がけてまいります。

湯田ダム管理支所長 細田

～湯田ダム50年のあゆみ紹介～



完成50年を記念し、今回から《湯田ダム50年のあゆみ》をテーマに紹介していきます。

“錦秋湖”の誕生秘話



◆湯田ダムが完成した昭和39年、ダム湖の名称募集を行ったところ…
北は北海道、南は九州までの全国から約1900通の名称が寄せられました。

◆その中から、同年4月21日に【水没移転者の一人】である小松光夫氏の応募した【錦秋湖】に決まりました。
当時、小松氏は「錦秋湖」に込めた思いを次のように語っていました。

湯田村のこれからの重点施策は観光だと思います。
そう考えるとき、湖名もやはり観光地にふさわしい、そしてよその人たちが湖名による美しいイメージをいただき、どんなとこだらうか、一度行ってみたいと思われるような湖名を考えました。
湯田村で生まれ、育った私ですら、当楽からダムサイト附近に生える秋の紅葉の美しさにみとれてしまいます。この紅葉の美しさを何とか表現したいと思ってつけたのが「錦秋湖」です。

【錦秋湖(川尻付近)の紅葉】

【錦秋湖(湯ノ沢付近)の紅葉】



【雪あかり2014 in にしわか】開催!!

◆2月8日(土)、西和賀町内が15,000本を超えるろうそく明かりで優しく灯されます。

雪の中に浮かぶ灯がなんとも幻想的なイベントです。
是非、西和賀町へお越し下さい。(湯田ダムも毎年参加!)
詳しくは、西和賀町HPをご覧ください。

(↓昨年度の様子↓)



湯田ダムの仲間たち



ハラヘッタ…

12/19(外は大雪)にダム監査廊内でカエルを発見しました。ダムの中は冬は暖かいので、カエル君も冬眠できずに困っているように思えました…。

編集後記

明けましておめでとうございます。
みなさん今年の抱負はもう決めましたか?わたしの抱負は・・・です☆
今年も湯田ダムだよりを宜しく願い致します。



発行

北上川ダム統管理事務所 湯田ダム管理支所
〒024-0341 和賀郡西和賀町杉名畑44地割162-15
TEL : 0197-74-2011
FAX : 0197-74-2013

ホームページ : <http://www.thr.mlit.go.jp/kitakato>

《2014》湯田ダム50周年